

第4章

重点事業1 くらし応援ネットワーク事業～身近な地域で支えあう暮らし支援活動の推進

住民主体の地域課題解決体制（我が事と考える地域）づくりを目指し、生活支援コーディネーターのもと、地域担当職員が出向いて地域ニーズを受け止め、「住民、地域福祉をすすめる関係団体」と「社会福祉法人、施設」等とのネットワークにより課題解決に向けて取り組みます。

推進項目1. 地域における福祉ニーズの把握

地域担当職員が、地域づくり組織や地区民生委員児童委員協議会等の会議や行事等への参画、ふれあい・いきいきサロンや地域ささえあい活動等への支援、民生委員・児童委員やまちの保健室等との連携により、それぞれの地域における福祉ニーズの把握に努めます。

取組み内容	2018年度	2019年度	見直し項目
地域担当職員による各地域の福祉ニーズの把握	地域の事業等への参加 のべ500回	⇒	継続
サロン等見守り活動団体との連携による福祉ニーズの把握	サロン等への訪問 70ヵ所 のべ100回	サロン等への訪問 全ヵ所 のべ100回	継続
救急医療情報キットの普及啓発、更新確認によるニーズ把握	5,000名利用	5,200名利用	継続

推進項目2. 課題解決に向けた共有の場づくり

地域の福祉ニーズに基づき、課題の共有や解決に向けた取組みの検討協議の場を設け、実践活動へつなげていきます。各地域の実践者同士や、同じ活動者同士、また市内多種多様な活動者同士が同じテーマを協議する連絡会や委員会の場の活性化に努めます。

取組み内容	2018年度	2019年度	見直し項目
地域福祉推進懇談会の開催	15地域 各1回	⇒	新規
地域福祉課題の解決に向けた活動支援	3地域	5地域	継続
活動者同士等の各種連絡会・委員会の開催	各1～3回	⇒	継続

※地域福祉推進懇談会 …地域づくり組織における福祉的課題やその解決に向けた話し合いの場

推進項目3. 地域における公益的な取組みの推進

社会福祉法人制度改革を踏まえ、市内社会福祉法人の連絡会を通じて、地域における公益的な取組みを推進します。また、名張市社協における公益的な取組み「ふれあい“絆”事業」の運用を整備し、関係団体等の協力を得て生活困窮者支援に活用します。

取組み内容	2018年度	2019年度	見直し項目
社会福祉法人連絡会を通じた法人と地域等との連携づくり	連絡会2回	⇒	新規
名張市社協事業「ふれあい“絆”事業」の効果的な運用	運用整備	改善見直し	強化

※ふれあい“絆”事業 …緊急的な食糧支援と、生活に必要な食糧や物品等市民からの提供により行う生活困窮者支援

重点事業2 ボランティアセンター事業～活き活きと活躍する担い手の育成

ボランティアセンターサテライト「福祉まちづくりセンター」も開設から4年が経過しました。ボランティア団体や福祉施設等が定期的に利用するほか、福祉活動へのきっかけづくりと交流の拠点としての活用を強化していきます。

担い手の育成においては、具体的な活動がイメージでき、受講後の活動機会の提供をあわせた講座を継続して開催していきます。

推進項目1. 活動へのきっかけづくり

福祉まちづくりセンターをきっかけづくり・人材発掘の場として、ボランティアや福祉施設等との協働によるイベントを企画実施します。子どもとその保護者が自らの興味関心をきっかけに、福祉やボランティアについて知る機会、出会う機会をつくり、次世代の育成につなげます。

取組み内容	2018年度	2019年度	見直し項目
ボランティアや福祉施設等との交流、体験教室の実施	12回 (毎月1回)	15回	強化
ふれあいフェスティバルの開催	1回	⇒	継続

推進項目2. 担い手の育成、活動支援

現在の活動者の後継者育成が課題となるなか、ボランティアの養成講座や、講座で育成された人材を実際の活動現場へつなげていくため、スキルアップ研修等を通じて活動の活性化に取り組みます。また、40～60歳代のミドルエイジを対象に、地域活動等への興味関心を高め、活動へ誘うしくみづくりに取り組みます。

取組み内容	2018年度	2019年度	見直し項目
傾聴ボランティアの養成・スキルアップ研修	1回	⇒	継続
スクエアステップリーダーの養成	2回 (6日間)	⇒	継続
こども支援センターかがやきとの協働による子育て支援員の養成	1回 (9日間)	⇒	継続
活動者を対象としたスキルアップ研修・交流会の開催	3回	4回	強化
ミドルエイジ(40～60歳代)の地域活動デビュー企画	調査、企画検討	モデル実施	新規

推進項目3. 災害ボランティアセンターの運営

平常時から防災ボランティアとの意見交換や訓練、地域や関係機関等との連絡調整を行い、災害時に円滑な支援活動を行う体制を整えます。

取組み内容	2018年度	2019年度	見直し項目
災害ボランティアセンターの運営	運営組織の検討	運営組織会議の開催	新規
防災ボランティアに関する訓練や研修会の開催	1～2回	⇒	新規

重点事業3 なばり暮らしあんしんセンター事業～地域福祉ですすめるセーフティネット

包括的・総合的な相談支援体制が整うなかで、なばり暮らしあんしんセンターもその一部を担い、住民からの相談をまずは受け止め、課題を整理し、適切な支援へつないでいきます。また、制度の狭間の問題も増加していることから、関係機関との連絡調整や支援協議を行い、役割分担と新たな支援方策の検討に努めます。

家族関係の希薄化などにより、福祉サービス等の利用にあたり日常生活自立支援事業や成年後見制度の利用希望が増えています。住み慣れた地域で安心した生活を送れるよう、事業による支援を通じて地域とのつながりづくりに取り組みます。

推進項目1. 相談支援体制の強化

生活困窮者等自立支援事業、生活福祉資金貸付事業、日常生活自立支援事業、法人後見事業といった事業を通じて、住み慣れた地域での自立した生活を支援するため、関係機関との連携を強化していきます。

取組み内容	2018年度	2019年度	見直し項目
地域ケア会議等関係機関との協議の場への参画を通じた、困難事例への対応協議・連携	会議等 48回	会議等 54回	強化
必要な人へ必要な情報を届けるための、関係者等への周知啓発	企画検討	実施見直し	強化

推進項目2. 地域住民等とすすめる個別支援

地域とのつながりづくりから相談者の社会生活が広がるよう、地域住民等の参加を得て一人ひとりを支える地域づくりに取り組みます。

取組み内容	2018年度	2019年度	見直し項目
生活困窮者就労準備等における事業協力者の拡充	受入 4カ所	受入 6カ所	継続
日常生活自立支援事業の体制強化 (生活支援員の養成)	登録者 35名 活動者 26名	登録者 40名 活動者 30名	継続
法人後見啓発事業の実施	1回	⇒	継続
名張市における法人後見受任体制のあり方検討	検討の場の設置	方向性の確認、計画化	新規

資料編

1. 名張市地域福祉活動計画推進委員会

○名張市地域福祉活動計画推進委員会 名簿

委員名	区分	役職名等	備考
富山 修	地域代表	地域づくり代表者会議 副会長	平成 29 年 5 月 31 日付退任
吉谷 久人	地域代表	地域づくり代表者会議 代表	平成 29 年 6 月 1 日付就任
竹岡 博嗣	社会福祉活動団体	名張市ボランティアセンター 運営委員会 副委員長	
布川 高宏	社会福祉活動団体	特別養護老人ホーム国津園 施設長	
寺田 伊三男	社会福祉活動団体	名張市手をつなぐ育成会 理事長	
田中 克広	行政関係者	名張市福祉こども部 医療福祉総務室 室長	

○名張市地域福祉活動計画推進委員会

日程	内容	備考
平成 28 年 3 月 3 日 (木)	・委員長、副委員長の選任について ・事業評価シートに基づく平成 27 年度実施状況報告	出席委員 4 名
平成 29 年 2 月 22 日 (水)	・事業評価シートに基づく平成 28 年度実施状況報告	出席委員 5 名
9 月 6 日 (水)	・委員長、副委員長の選任について ・地域福祉活動計画の見直しについて ・今後のスケジュール	出席委員 4 名
12 月 11 日 (月)	・見直し計画（素々案）について ・地域福祉推進懇談会実施報告	出席委員 4 名
平成 30 年 1 月 23 日 (火)	・見直し計画（素案）について	出席委員 5 名
3 月 2 日 (金)	・見直し計画（案）について	出席委員 5 名

名張市地域福祉活動計画推進委員会設置要綱

(設置)

第1条 社会福祉法人名張市社会福祉協議会（以下「協議会」という。）と住民とが共に取り組む地域福祉活動の推進状況を管理することを目的に名張市地域福祉活動計画推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について意見を述べるものとする。

- (1) 活動計画の進捗状況の確認、評価、見直しに関すること。
- (2) その他活動計画の推進に必要な事項に関すること。

(構成)

第3条 委員会は、委員5名で構成する。

2 委員は、地域福祉活動計画策定委員会より、地域代表1名、社会福祉活動団体の内から3名及び行政関係者1名を協議会会长（以下「会長」という。）が委嘱する。

3 前1項に掲げる委員のほか、委員会が必要と認めるときは、他の者に関係者として出席を求め、意見を聞くことができる。

4 委員が欠けた場合における補欠委員は、前任者の選出区分から協議会会长が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、平成32年3月31日までとする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長等)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

- 2 委員長は委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(報酬の支給)

第6条 委員の報酬は、委員会の出席につき、日額2,000円とする。

2 前項の規定にかかわらず、委員が名張市職員の場合は、支給しない。

(会議)

第7条 委員会は、委員長が召集する。

(事務局)

第8条 委員会の事務を処理するため、協議会地域福祉課に事務局を置くものとする。

(補則)

第9条 この要綱で定めるもののほか、活動計画の推進に関して必要な事項は、会長が定める。

2. 平成29年度 地域福祉推進懇談会

平成29年度は第8期名張市高齢者保健福祉計画の策定と第3次名張市地域福祉活動計画の中間見直しを進めていたことから、今後の地域福祉活動をさらに充実させることを目的に、地域づくり組織における福祉的課題やその解決策を話し合う「地域福祉推進懇談会」を開催しました。

○内容

第1部 名張市より「名張市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の改訂について
名張市社協より「くらし応援ネットワーク」について

第2部 グループワーク「身近な地域のささえあい活動について」

ワーク1 地域での課題や気になっていること

ワーク2 現在地域で取り組んでいること、これから取り組んでいけること

地域づくり組織	日程	参加数	参加者構成	頁
名張地区まちづくり推進協議会	11/29 水 13:26~15:28	14名	会長、区長3、部会等、民生8、まち保	19
中央ゆめづくり協議会	12/2 土 15:01~17:08	24名	会長、区長5、部会等12、民生3、市民3	20
蔵持地区まちづくり委員会	11/22 水 13:32~15:35	18名	会長、区長2、部会等3、民生7、まち保2、他3	21
川西・梅が丘地域づくり委員会	12/3 日 10:30~11:59	14名	会長、区長5、部会等、民生6、市民	22
薦原地域づくり委員会	12/1 金 10:00~12:00	17名	会長、民生5、ボラ6、市民3、まち保2	23
美旗まちづくり協議会	12/3 日 13:30~15:30	8名	会長、区長6、市民	24
桔梗が丘自治連合協議会	1/28 日 9:30~12:00	34名	会長、部会等19、民生7、PTA6、市民	25
ひなち地域ゆめづくり委員会	11/20 月 18:57~21:05	19名	会長、区長5、民生10、市民、まち保2	26
すずらん台町づくり協議会	11/26 日 19:00~21:00	18名	会長、区長3、民生8、ボラ3、市民、他2	27
国津地区地域づくり委員会	12/2 土 11:24~12:33	13名	会長、区長7、民生5	28
つつじが丘・春日丘自治協議会	11/21 火 9:30~11:30	19名	会長、部会等9、民生3、地区社協2、ボラ、市民、他2	29
錦生自治協議会	11/28 火 19:00~20:57	11名	会長、部会等(民生含む)9、市民	30
赤目まちづくり委員会	12/2 土 18:36~20:34	11名	会長、区長5、民生3、市民2	31
箕曲地域づくり委員会	11/14 火 13:30~15:40	21名	会長、区長4、部会等、民生6、ボラ5、市民3、まち保	32
青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会	11/26 日 9:32~11:42	25名	会長、部会等7、民生10、ボラ6、市民	33

※参加者構成 会長（地域づくり組織会長）、区長（区長、自治会長）、部会等（地域づくり組織各部会、役員、会員）、民生（民生委員・児童委員、主任児童委員）、ボラ（ボランティア、サロン担い手等）、市民（市民センター）、まち保（まちの保健室）

全体まとめ①〔地域での課題や気になっていること〕

各地域であげられた課題の中から、いくつかの地域で共通となる課題をまとめたものです。

【現在の課題】	
環境面	「空地・空家」「医療機関の減少に伴う地域医療」
移動・交通手段	「高齢者の免許返納等による買物・通院の移動手段の確保」
ボランティア	「ボランティアの高齢化に伴う担い手、後継者の確保」
地域づくり関係	「旧村地域と団地地域との関係性」「地域づくり行事に対する住民の参加参画」「区長と民生委員・児童委員の連携」「民生委員・児童委員の次期候補者」「地域づくりの活動財源」「自治会未加入住民への関わり」
コミュニケーション	「地域との関わりを拒む人への関わり方（アパート住民との関わり方等）」「気になる人や問題を抱える人への関わり方」「災害時要援護者への対応」「交流の場が少ない」
高齢者等支援	「ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯への生活支援」「老老介護」「介護予防」「高齢者等のゴミの分別・廃棄」
子ども・子育て	「遊び場がない」「相談・頼ることができる人が周りにいない」
情報	「子育て情報が届いていない」「情報発信しても関心が低く届いていない」「住民に必要な情報が届かない」「地域内での情報共有ができていない」
【これからの課題】	
環境面	「空地・空家」「災害避難場所」「高齢者の働く場」「校区編成」
移動・交通手段	「コミュニティバスの継続性」「高齢者の移動手段」「高齢者の買物難民」「ナッキー号とコミュニティバスの連携」
ボランティア	「担い手不足と活動継続性（配食ボランティア）」「活動者の高齢化」「リーダーの育成」
地域づくり関係	「近所づきあいの希薄化」「ひとり暮らし高齢者等の突発的な事故対応」「地域活動における事故等の補償」「地域内組織の連携」
生活面	「将来の生活に対する不安（困窮、就労）」
コミュニケーション	「孤立・孤独からの孤独死」「世代間交流の機会が少ない」「地域内でのつながりが低下し、地域の関係性が低下」
高齢者等支援	「老老介護者が増えることでの介護支援」
子ども・子育て	「少子化」「子ども支援」「子育て支援」
情報	「個人情報の壁により関わりたくても関われない」
居場所	「小中学生の居場所」「身近な場所での居場所」「気軽に集える場」
地域機能の存続	「若者の地域への定住」「高齢化による農業後継者」「農作物の活用」

全体まとめ②〔現在地域で取り組んでいること、これから取り組んでいくこと〕

各地域であげられた取組みの中から、主な取組みをまとめたものです。

【現在の取組み】	
移動・交通手段	「コミュニティバス」「地域ささえあい活動（外出支援）」
地域づくり関係	「各種イベント開催」「区単位の懇談会」「まちじゅう元気」「地域内運動会」「災害弱者への支援」「防災訓練を通じた共助の指導」
コミュニケーション・居場所	「近隣同士の助け合い」「ラジオ体操」「世代間交流」「地域内の交流活動」「農園クラブでの交流の場」「昼食会」「コミュニティカフェ」「サロン」
高齢者等支援	「ゴミ出し」「高齢者等への声かけ・見守り訪問」「地域ささえあい活動」「配食ボランティア」「会食活動」「敬老のつどい」
子ども・子育て	「登下校時の声かけ（子ども安全対策8・3運動）」「学校行事への協力」「スクールガードによる登下校の見守り」「コミュニティスクールの検討」「学習ボランティア」「学校支援ボランティア」「赤ちゃん訪問」
情報	「チラシ配布」「地域行事の周知」「情報共有のための見守りリスト作成」
人材育成	「共通の趣味・特技を持つ者での仲間づくり」
健康・学習	「認知症講座」「健康教室」「スクエアステップ」「ノルディックウォーク」
【からの取組み】	
移動・交通手段	「移動手段の取組み」「コミュニティバスのルート変更や他との連携強化」
ボランティア	「若い担い手の育成・確保」「新たな配食活動の展開」「新たなりーだー育成」「配食ボランティア活動の回数増加」「趣味・特技を持つ人の人材バンク」
地域づくり関係	「自主防災組織の実体化」「自治会未加入者に対する取組み」「男性対象行事」「民生委員・児童委員の補助機関の設置検討」「団塊世代への取組み」
コミュニケーション・居場所	「世代間交流」「若い世代の交流の場」「出張型サロン」「だれでも食堂」「男性が集える場」「地域内運動会」「身近な場所での居場所」「他世代で楽しむ健康麻雀」「子どもの居場所」「子どもが郷土にふれる活動」
高齢者支援	「地域ささえあい活動」「サロン・配食回数の増加」「認知症の方の搜索隊」「認知症カフェ」
子ども・子育て	「集団登下校」「コミュニティスクール」「子ども預かり」
情報	「地域内での情報共有」「広報手段の開発」「地域と行政等との情報共有」「自治会事業の周知・啓発」「民生委員・児童委員と自治会との情報共有」
生活支援	「各区に車椅子配置」「移動販売等の買物支援」「ゴミ出し・分別支援」
地域活性化	「空地・空家活用」「フリーマーケットの開催」「地場野菜を使った会食会」
健康・学習	「福祉教育」「出前講座」「市民大学」「健康教室」「スクエアステップ」
協働事業	「ボランティアセンターの有効活用」「就労の場づくり」「屋内避難所の新設」「行政と地域資源の発掘」

名張地域

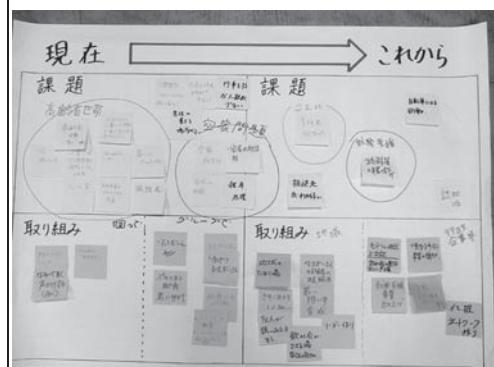
	【現在】	【これから】
課題	「生活における課題」「移動手段」「高齢者の見守り」「地域内のつながり」「少子化」	「空家問題」「高齢者サロンの取組み」「地域の担い手不足」
取組み	「声かけ・見守り」「サロン」「隠おたがいさん」「配食ぷちとまと」「近隣での配食弁当の預かり、ゴミ出し等」	「地域の担い手育成」「認知症カフェ」「地域で気軽に集まれる居場所づくり」「空家活用」

まとめ

見守りの必要なひとり暮らし高齢者が増えており、「生活における課題」では、ゴミの分別ができなくなった、ひとりでは力仕事ができなくなった、通院等の移動が困難である、などの意見が挙がり、それらの課題に対して「隠おたがいさん」による生活支援サービス・外出支援サービスに取り組んでいることを共有しました。

また「高齢者の見守り課題」では、サロンのない地区の高齢者や、サロンや配食サービスを活用されないひとり暮らし高齢者に対してどのように見守りをしていけばよいのか、さらには認知症状のある住民の見守りについて意見が出ていました。

今後、認知症の方を含めて、誰もが集まる居場所づくりと、それを支える若い世代の担い手育成に向けて取り組む必要がある、と課題の共有を図りました。



鴻之台希央台地域

	【現在】	【これから】
課題	「集合住宅住民に対する地域のつながり」 「高齢者に対する交流の場づくり」 「小・中学校区域による子育て支援」 「名張市社協の活動」	「高齢者サロン等による居場所づくり」 「集合住宅のひとり暮らし高齢者の見守り」 「子育て支援のあり方」 「避難場所」 「住民の地域定着化」 「空地の有効活用」
取組み	「声かけ、見守り訪問」「高齢者生活支援」 「スクールガード」「人材バンク」 「子育て活動支援きらきらひろば」 「地域内防災訓練」「地域内イベント」	「高齢者サロン」「住民カフェ」 「地域拠点による子どもの居場所づくり」 「屋内避難所の新設」「各区に車椅子」 「自主防災組織の実体化」「地域情報発信」

まとめ

他地域から移り住んでこられる若い世代が多く、子どもを産み育て定住してもらいやすい地域としての将来のビジョンを見据えた話し合いの場となっていました。今後の取組みとして、入学・卒業を祝うイベントや、放課後児童クラブ以外に地域内で子どもを預かるなどの「地域拠点による子どもの居場所づくり」に関する新しい取組み案がありました。

子育てサロンはあるけれど老人クラブがなく、ひとり暮らし高齢者が地域の行事に出て行きにくい、70歳代の比較的若い高齢者が自宅にこもりがちになっている、といった意見もありました。

また、集合住宅に誰が住んでいるのかわからず顔がみえない、入居者の入れ替わりも激しく災害弱者の情報把握が難しい、ひとり暮らし高齢者の孤独死も今後予想されるといったことから、集合住宅住民に対する地域のつながりづくりが大きな課題として挙げられ、暮らしやすい地域ネットワークの必要性について共有を図りました。

